

## 保育計画成果報告書

|         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| 法人名     | 社会福祉法人聖徳会                         |
| 施設名     | 天王寺駅前おおぞら保育園                      |
| 報告者（役職） | 上谷 秀子（園長）                         |
| 住所・連絡先  | 大阪府大阪市天王寺区南河堀町 8－2 1              |
|         | ☎ 0 6－6 7 7 2－7 0 2 1             |
|         | E-mail h.uetani@shoutokukai.or.jp |

○タイトル（保育計画）

いきいき・のびのびあそぼう ―ちいさなみんなの森―

○主な助成備品

砂場コーナー、コーナーユニット、桼ログメイト、ベンチ・テーブルセット、植木鉢  
菜園用プランター、土、苗

### 1. 保育計画策定の目的

2年前に開園して間もなく屋上の更地に目が留まり、子どもにとってどのような環境をつくれば良いか悩んでいました。保育園の周辺はマンションやモータープールなどが建ち自然のない環境の一角に4階建ての園舎があります。都市型保育園の自然の少ない環境の中でも、色々な教材・教具や自然などの物的環境を充実させる事で、子どもたちの遊びを引き出したり経験を深めたりして成長を見つめていく場として、屋上の一角が菜園活動のスペースとしてスタートできるのではと考えました。季節を感じながら、春夏秋冬に合わせて野菜や果物の苗や種を植え育て、成長の変化に気づきながら楽しんで取り組みました。



この更地が“みんなの森”として菜園活動のスペースに変身!!

### 菜園活動の年間目標

- ・菜園活動をする事で、戸外の空気に触れ健康や安全に生活し情緒の安定を図る。

- ・人に対する愛情と信頼感を育み、思いやりやさしさを育てる。
- ・食べる営む力の基礎を培い「食べる意欲」「生きる力」の素地を養う。
- ・園庭（屋上）開放を通して、地域の子ども・保護者との交流から保育園を理解してもらい、子育て支援を担う。
- ・様々な人との交流を行い、人間関係を育む。

## 2. 具体的な実施内容

### ・菜園活動

土を耕す → 水やり → 草ひき → 肥料を入れる → 収穫する

### ・調理活動

収穫した野菜 → 洗う・切る・煮る・味付ける・食べる



### \*畑で育てた野菜

春野菜 — エンドウ豆・イチゴ・ブルーベリー

夏野菜 ー きゅうり・トマト・プチトマト・なすび・ピーマン・オクラ

秋野菜 ー さつまいも・みかん

冬野菜 ー 白菜・水菜・かぶら・大根・人参・たまねぎ・ねぎ

**\*収穫野菜でクッキングした献立**

春野菜 ー エンドウ豆ごはん・イチゴジャム

夏野菜 ー トマトジャム・野菜スープ・野菜ピザ

秋野菜 ー スイートポテト・芋つるの金平

冬野菜 ー 大根の煮つけ・かぶらの煮つけ・玉ねぎスープ

プランターに植えた苗に、水をやったり、肥料を入れたり草ひきしたりして、各クラス（2歳児、3歳児、4歳児、5歳児）が年齢に応じて世話をした。収穫の時期にタイミングよくクッキング活動に繋がった。

2歳児・3歳児 ー きれいに洗う。ピーラーで皮をむく。

4歳児・5歳児 ー きれいに洗う。ピーラーで皮をむく。切る。つぶす。まぜる。



わ〜い！赤いイチゴ



イチゴジャムをリッツにのせて食べました



たくさんのプチトマト



大きなナスビができたね！



ピーマンののにおいてどんなの？



うんとこしょ！どっこいしょ！おおきなおおきなおいものがとれたよ！



たくさんのさつまいもを使ってスイートポテトを作ったよ



みずみずしい白菜



水菜も元気いっぱい



## 「 みんなの森 」



立派な大根がたくさんとれました

### 3. その成果と評価

更地のスペースに助成で頂いた物品を使って食育に視点を置いて、「みんなの森」として菜園活動に取り組むことが出来ました。

園児と共に土作りから苗植えなど、一つ一つの作業を行うことで育てる事の楽しさや難しさ、そこから見えてきた命の大切さを経験することができました。又、食する楽しさや味わう喜びなど、友達と一緒に活動をすることで、より一層仲間との関わりも深めることが出来た様に思います。なかでも一年を通してクッキング活動は、4・5歳児を中心に取り組みました。暑い日でも毎日水やりや草ひきを一生懸命したり、色付いてきたトマトの変化に大喜びしたり、夏野菜の収穫に数を嬉しそうに数えたり、絵に描いたり、歌ったりと保育の幅もどんどん広がりが見られました。そのような活動を進めていく内に、遊びの興味も高まり、子どもたちにも集中力がついていった様に思われます。

秋の運動会では、意欲を持って各年齢とも運動あそびを思いっきり取り組む事が出来ました。商業施設に立地する保育園として、屋上にゆったりとくつろげる癒しの空間「みんなの森」が出来た事で、保護者の皆さんや見学に来られた方々にも、保育園の特色としてアピールできた事がとても良かったと思います。又、自慢の場所の一つになりました。

菜園活動したことにより、苦手だった野菜と向き合い、少しずつでも食べれるようになっていった子どもや、その頑張ろうとしている友達に、周りも応援や励ましの言葉で支えたりして、一層友達を深く知り相手を理解し協力して物事を行っていかうとする力にもなったと思います。

### 4. 今後の課題と展望

一年間かけて取り組んできた屋上庭園「みんなの森」。野菜の世話はとても大変だけれど、成長の変化がとっても楽しくて、子どもたちの興味はいっぱい広がり心の成長に大きく繋がったと言えます。色々な成長の変化に気づいたり収穫の喜び、調理活動の楽しさ、食して味わう達成感など、いろいろな事を感じる心の育成に大きく影響しました。

今後も年間計画を立て各年齢別や異年齢交流など取り組み方にも工夫しながら2年目を進めていきたいと思います。野菜や果物の他に、小動物（メダカ、アゲハの幼虫など）の生息を今年度は課題として取り組みたいと考えています。

28年3月。初めての卒園児を送りました。開設当時から一緒に屋上庭園作りに取り組んできた卒園児に小学校に行っても、「みんなの森」の事を忘れず時々、様子を見に来て屋上庭園を楽しんでほしい事を伝えました。返事は笑顔がいっぱいでした。

子どもと一緒に職員みんなで、楽しんで取り組んできたことが宝物です。

このことを、みんなの力で今後も、深めていきたいと思います。

以上